

# MRI検査を受けられる方へ

## MRI検査について

MRI検査(磁気共鳴画像検査)は、放射線を使用せずに磁場と電磁波を利用して体内を画像化する検査法ですので医療被曝はありません。検査する部位に関係なく金属を身につけたまま検査室内に入るとは出来ません。

検査は、検査着に着替えてから寝台上に横になり、磁石の埋め込まれたトンネル状の装置の中で行います。検査中は工事現場のような大きな音がしますが、耳栓・ヘッドホンで聴覚を保護します。検査中に体が暖かく感じるがありますが、電磁波の影響です。ごくまれに皮膚がピリピリと感じるがありますが、磁場変動によるものです。いずれも身体に害を与えることなく安全です。

検査時間は内容により前後しますが15～30分程度かかり、その間は決まった姿勢のまま軽く固定をさせていただき、動かないでいただく必要がありますのでご協力よろしくお願いします。

## 注意事項

### ★次の場合は検査を受けられません

心臓ペースメーカーを装着している方、人工内耳やマグネットタイプの義眼をされている方、除細動器、神経刺激装置、注入ポンプのある方、妊娠の可能性のある方や妊娠初期の方

### ★検査を受けられない場合があります

体内に金属が入っている方(冠動脈ステント・生体弁、人工関節、クリップ(脳動脈、外科、内視鏡用)、歯の矯正・インプラント、避妊リング)

※ 金属の種類や留置時期により検査ができないこともありますので、ご不明な場合は手術・処置を受けた施設に必ずご確認ください。

### ★検査室に持ち込めません

【金属類】 持続血糖測定器、尿道カテーテルのDIBキャップ、携帯電話、時計など  
【カード】 キャッシュカード、クレジットカード等のカード類、定期券、駐車券など  
【その他】 着脱可能な義歯、補聴器、カイロ、湿布、エレキバン、カラーコンタクト、サークルレンズ、ネイルアート、まつげエクステなど

1. 腹部・骨盤部の検査の方は、**検査4時間前から絶食**です。水分摂取もご遠慮ください。
2. 常用薬はいつも通り服用してください。
3. 検査部位に関わらず、整髪料(増毛スプレー・パウダーなど)の使用はお控えください。また、化粧品の種類(特にアイメイク)によっては金属を含んでいるものがあり、吸引・発熱の可能性がありますので、濃いメイクはお控えください。
4. 刺青・タトゥーをされていると火傷や変色の可能性がありますので、検査によって得られる利益と危険性をご理解・同意の上での検査となります。
5. 検査着へ着替えていただきますので、着替えやすい服装でお越しください。保温性の優れた下着(ヒートテック等)は火傷の危険性がありますので、お控えください。
6. 妊娠している可能性のあるかたは、検査前にお申し出ください。

## 造影剤の副作用

今回実施するMRI検査では、ガドリニウム造影剤（静脈注射）を使用する場合があります。造影剤は、病気の有無や症状を、より正確に評価するために用いられるものです。MRIの造影剤は比較的安全な薬剤ですが、他の薬剤と同様、まれに副作用が起こることがあります。副作用としては次のようなものがあります。

1. 軽度 : はきけ、かゆみ、発疹、頭痛等で、一時的なものが多いです。  
基本的には治療を要しません。(頻度は100人に1人程度です)
  2. 重篤 : 呼吸困難、血圧低下、意識障害、心停止等で、治療が必要となります。  
非常にまれです。(頻度は5万人に1人程度です)
  3. その他 : 造影剤を注入する際、血管外に造影剤がもれて腫れや痛みを伴うことがあります。時間がたてば自然に吸収されますが、痛みが強い場合には処置が必要となります。
- 腎不全、喘息、妊娠中、金属・鉄剤アレルギーの方は造影剤を使用できない場合があります。